



新年を迎えて



新しい年を迎え、会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

去年は、年当初に発災した能登半島地震に始まり、夏場には類を見ない酷暑日の連続、時間外労働の上限規制の適用、高齢化が進む一方で若年層の人手不足は深刻さを増し、私たちを取り巻く環境は、依然として厳しい状況が続いています。

道路が寸断された能登半島地震後の復旧復興の進捗を考えた時、わたしが整備する道路インフラがいかに重要であるかを改めて認識させられました。様々な課題が有る中でも一つ一つ乗り越え、会員企業が継続してインフラ整備に貢献でき、安全安心で快適な生活環境を地域に提供できるようにしていきたいと思っています。課題を解決し、持続可能な企業・協会を目指して、関係機関と連携を密にすると共に、会員企業間の情報交換を促進し、相互協力体制を強化して行きますので、今後とも協会活動へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、皆様の健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



(一社)熊本県道路舗装協会
会長 小笹 康博



～2024年から2025年へ～

今年もよろしくお願い致します。

【道路技術講習会】2024年9月11日 主催：(一社)熊本県道路舗装協会 会場：(一財)熊本県建設技術センター
会員企業における技術力の向上と安全な工事の施工を図るため毎年開催しており、今回は58社115名が受講いたしました。

≪ 講習内容 ≫ (CPDS 7 unit)

1.〔道路施設の維持管理について〕

熊本県土木部道路保全課 課長補佐 松下 大起 氏

2.〔舗装工事の施工管理と工事検査について〕

熊本県土木部土木技術管理課 主幹 福山 茂 氏

3.〔現場の安全対策について〕

建災防・熊本支援センター 主任指導員 國松 真 氏

4.〔アスファルト舗装の破砕原因と調査手法等について〕

大林道路(株)九州支店工事部技術課長 井出 義勝 氏

5.〔ICT施工・遠隔臨場等について〕

(株)イクシス ICT×3D Div.副部門長 沢口 敦 氏

Business Development Div.

九州拠点南九州チームリーダー 西村 孝太 氏

●受講者コメント● (有)田建設工業 田中 龍治さん

まず講習の前に道路技術講習会の目次を見て、技術者として必要な知識が多岐にわたり、最新の項目まで羅列しており、圧巻でした。さすが、技術委員会です。道路維持管理や補修の維持管理計画から始まり、現場の施工管理の方法、検査対策や舗装の破損の要因、又、構造設計の計算等久しぶりにT Aの式を見ることになりました。最後には、3次元データの活用、遠隔臨場の説明もあり、今後実施していかなければならない課題に少し難しさを感じました。今後も技術委員会の講習にはぜひ参加させていただきたいです。これからも最新の技術や資料の提示をよろしくお願い致します。

●受講者コメント● 北里道路(株) 平川 賢次郎さん

今回、道路技術講習会に参加させていただき、道路施設の現状と未来、施工管理、安全対策、実務的な知識、そしてICT施工についてまで幅広く学ぶことができました。中でも、R5年時点で全国72万ほどある橋梁のうち42%が築後50年以上となり、今後10年で67%に達するという予測に驚かされました。老朽化により発生した過去の事例を写真とともに説明していただいたことで、改めて道路施設のメンテナンスや舗装マネジメントについて深く理解する必要があると感じました。又、工事検査と成績評価に関するお話では、検査の内容や施工の注意点について具体的に教えていただき、大変参考になりました。早速社内で共有し、次の工事に活かしたいと思います。

日々の業務において、新しい取り組みには困難が伴いますが、今後も工事に関するポイントや工事書類の簡素化、受発注者間の労力削減に関する情報を常にアップデートし、遠隔臨場やICT施工等新たな分野にも積極的に取り組んでいきたいと考えています。この度は、本当にありがとうございました。

【国土交通大臣表彰

受賞祝賀会開催】

2024年11月29日(金) ホテルキャッスルにて当協会の前会長であり元熊本県建設業協会副会長 岩本 敏則氏(翔栄建設(株)代表取締役)の国土交通大臣表彰受賞祝賀会が盛大に開催されました。

これまでのご功績に深く敬意を表しますと共に、今後益々のご活躍を祈念申し上げます。この度は、岩本前会長、おめでとうございます🍀



【高校生向け建設産業魅力発見ガイダンス】

～若い力、求む！一緒に『Road Doctor』になろう！！～



2024年3月15日 グランメッセ熊本にて、熊本県土木部監理課主催により開催されました。

当協会もブースを出展し、広報特別委員をはじめとした若手メンバーで、動画やスライドを駆使し、舗装工事の説明や協会活動、会員企業の紹介をいたしました。ブースには105名の生徒さんが話を聴きに来てくれました。

〔参加高校〕・玉名工業高校・阿蘇中央高校阿蘇清峰校舎・翔陽高校・熊本工業高校・第一高校・八代農業高校・小川工業高校・球磨工業高校・天草工業高校・水俣高校

●協会参加者コメント●

宇城舗装(株) 営業部長 吉田 彰さん

今回初めて参加させていただいて、舗装工事のイメージをわかりやすく伝えるための『Road Doctor』というキャッチフレーズはとても良いと思いました。

日頃、自分たちが行っている仕事をわかりやすく、かつ、印象付けるように伝えるのは難しいので、今後どのように伝えていけばいいかを一緒に考えていきたいです。

皆様、私たちと一緒に建設業界を盛り上げていきましょう！！



【安全パトロール】南部幹線防災・安全交付金(街路)舗装その2工事他合併 [施工：(株)中山建設]

2024年3月12日実施 報告：安全安心委員会 満石 良彦 (青木建設(株))

内容は、上層路盤工。安全関係書類や工事現場内も、とてもよく整理されていました。アドバイスとしては、起終点のバリケードに立入禁止の看板設置、隣接する民地への強風時施工の配慮、建設機械の特定自主点検の再確認等でした。

昨年も県内で労働災害が発生しておりますので皆様、更なる安全管理を徹底し、無事故、無災害を目指していただければと思います。





当協会会員企業は、普段より舗装工事現場での熱中症の予防に努めておりますが、暑さの厳しくなる6月に安全安心委員会事業として、更なる熱中症予防の取り組みの推進に資するため『**防ごう！熱中症**』のポスター2種を会員企業に配布致しました。今後も地球温暖化や気候変動の影響でさらに暑さが厳しくなることが予想されますので、ポスターを十分活用し、皆様への周知徹底で少しでもご安全にお過ごし下さい。

2024年7月29日 道路舗装協会と熊本県土木部との意見交換会が、建設会館で開催されました。当日は、当協会から会長、副会長及び理事計21名、熊本県土木部から8名が出席しました。当協会から、設計や施工に係る様々な課題、問題点等に関する協議事項を提示し、県が回答し意見交換が行われました。具体的な事例も踏まえて活発に意見が交わされましたが、まだ多くの課題があり、改善に向けて来年度以降も意見交換を継続することを確認して終了しました。

当協会では、会員企業社員の技術力及び意欲の向上を目的に毎年会長表彰を行っております。審査の結果、今年度は下記9名の方々が受賞されました。技術力はもちろんのこと、その現場に即した創意工夫、高い意識をもって取り組む責任感、常にスキルアップを目指す姿勢等も評価されました。今後もなお一層の技術・技能の研鑽に努められることを期待しております。

◎(株)福岡建設	施工班長	松山 剛 様
◎矢部開発(株)	主任技術者	石田 拓己 様
◎(有)オカザキ	現場オペレーター	村上 二三男 様
◎苓陽工業(株)	施工総括	江崎 民也 様

今回、広報特別委員長のバトン吉坂建設(株)佐藤一平代表取締役から受け継ぎ、最初の発行となりました。ご意見ご感想、また、会員企業で取材の依頼等ございましたら是非ご連絡ください。よろしく願いいたします。 広報特別委員長 高木 聡 (株高木建設)

大会スローガン：『 仲間の声で危険を防ごう、未来へつなぐ職場の安全 』

今回は、建災防創立60周年記念の大会として、2024年10月3日～4日 東京ビッグサイト・東京国際フォーラムにて開催されました。「2024年問題と労働災害防止」「人を活かし、技に生きる」「職場の環境改善とコミュニケーション」等の講話があり、常に安全第一で、安全衛生意識の高揚を図りました。皆様、本年もご安全に！！

主催：日本道路建設業協会九州支部・（一社）熊本県道路舗装協会

舗装工事等に携わる企業や道路を管理する国・自治体の技術職員等九州各県から約200名が出席。

最近の道路行政や舗装技術、維持管理の課題に耳を傾けました。道路技術の研鑽等を目的に九州各県の持ち回りで毎年開催されており、熊本県では6年ぶりの開催となりました。

1.〔～道路行政を巡る最近の話題～〕

国土交通省 九州地方整備局 道路部 道路情報管理官 石橋 賢一 氏

2.〔熊本県の道路整備について〕

熊本県土木部道路整備課 課長 奥山 和弘 氏

3. 「電気自動車(EV)に向けた舗装技術」

福岡大学 工学部 社会デザイン工学科 教授 佐藤 研一 氏

4. 「舗装の維持管理について」

日本道路(株)九州支店 九州技術センター 所長 児玉 健 氏

九州地方整備局の石橋氏は、能登半島地震への対応や、国土強靱化、建設業の働き方改革、九州整備の新たな取り組み等を紹介し、今後の業務の参考にしてほしいと結びました。

九州地方整備局の今後のビジョン『クロスからリングへ』、熊本県の4つのコンセプト『150分構想』『90分構想』『10分20分構想』『ダブルネットワーク構想』等の話を聞いて、道路インフラに携わる者として、改めて物流や人の流れ、防災減災に対する責任の大きさを実感しました。経済活性化における渋滞緩和、災害発生時における2方向避難や復旧復興のスピードアップに貢献するんだという強い意識をもって施工を行っていききたいと思います。舗装の維持管理についての講演では、普段何気なく施工していることについて、しっかりとした説明を聞くことができ、自分たちがなぜこのように施工しているのかを改めて考えるきっかけになりました。普段、なかなか聞くことができない話を聞く機会を作っていただき、ありがとうございました。

2024年10月に計画しておりました毎年恒例の高校生向け舗装実習は、雨天の為中止となりました。

関係者の皆様、ご協力、ありがとうございました。

今年、また計画致しますので、どうぞよろしくお願い致します。

異常気象の現代。現場で働く私たち、少しでも丈夫で健康な体作りを目指したいですね！

ここでは野菜に含まれるカテロイドのご紹介です☆シカテロイドは、野菜や果物に含まれる色素成分で、体内に発生した**活性酸素**を除去する働き（**抗酸化作用**）があり、**動脈硬化予防**などが注目されています！！

